

2024年6月28日

恵庭市議会議長

長谷 文子 様

会 派 名 日本共産党議員団

代表者氏名 小林 卓矢



政務活動費研究研修結果報告書

恵庭市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、当派の 2024 年度研究研修結果について、次のとおり報告します。

記

1 研究研修期間 2024 年 5 月 30 日から 2024 年 5 月 31 日まで（2 日間）

2 内 容

研究研修名	日本自治創造学会研究大会
研究研修会場	東京都千代田区神田駿河台 明治大学コモンアカデミー
参加人数	1 名
研究研修内容 5 月 30 日	
公演：地方自治体の目指す道 東京大学名誉教授 吉川 洋	
①実質 GDP の動向（2005～2023）、②少子高齢化、③人口と経済成長、④シュンペーター資本主義のエンジン＝イノベーション、⑤日本経済の長期停滞、後退するイノベーション、⑥日本経済の構造問題、消費の停滞、⑦財政赤字のリスク、⑧社会保障の給付と負担の現状、⑨東京都多摩地区の例	
公演：個性ある自治体づくり 明治大学政治経済学部教授 牛山 久仁彦	
①自治体の「消滅」再び、②人口減少・少子高齢化の「衝撃」と激甚災害の「追い打ち」、③個性ある自治体を作るという事、④自治体議会の置かれている状況	
公演：「政策議会」の理論と実績 法政大学法学部教授 土山 希美枝	
①なぜ政策議会か、②政策議会の「成果」と「過程」、③政策議会の実績、④自治の機構としての議会	
公演：新たな地方議会の創造 “議会からの発信” 住民自治の根幹”としての議会の作動	
大正大学地域創生学部教授 江藤 俊昭	
①議会改革の到達点、②議会からの政策サイクルの充実課題、③個性と魅力ある自治体づくりに挑戦する	



5月31日

公演：今求められてる子どもの自殺予防 関西外国語大学外国語学部教授 新井 肇

①児童生徒の自殺の現状と背景、②児童生徒の自殺の特徴、③自殺のリスクの高い児童生徒の背景要因、④自殺予防の方向性と具体的展開、⑤自殺予防教育の具体的進め方、⑥安全安心な学校環境づくり、⑦核となる授業、⑧自殺の危険性の高まった児童生徒への気づきと関わり、⑨チーム学校で進める自殺予防、⑩自殺が起きてしまった時の心のケア

公演：デジタル導入の価値を考える デジタル大臣 河野 太郎

当日の公演直前にマイナンバーカードの機能をスマートフォンに搭載することが出来る法案が。可決スマートフォンでの口座開設も可能となった。今後はパスポートなどにも拡充していきたいとの事。コンビニで住民票を受け取る人が増えている。

考察

この度の研修会では、地方自治体の消滅、少子高齢化、議会改革、子どもの自殺予防などを学ぶことが出来ました。研修内容のほとんどが本市にも当てはまるものではと考えます。本市の試算では今後高齢化が進むことが想定されています。高齢者の福祉充実も重要ではありますが、出生率も過去最低を記録するなど、深刻な状況で、子育てしやすいまちづくりのためには子育て支援の拡充は重要な事であると考えます。同時に若い世代が家庭を築くことに興味を向けるための経済的な余裕も必要であることから、賃金アップも必要ではないかと考えます。

子どもの自殺防止については、15年連続で中高生の自殺数が上昇していることが今回の研修会で語られました。安全安心な学校環境づくりや、核となる授業、自殺の危険性の高まった児童生徒への気づきと関わりなど重要であると考えますが、同時に家庭でも子どもとのコミュニケーションをとることが重要であることから、保護者の負担軽減のためにも子育て支援の拡充は必要であります。

議会改革につきましては、オンライン会議や議会側から市民に打って出るなど、他市の取り組みも参考にしながら活発な議論の中でアイデアを出し合い、実行に移すことが重要であると考えます。

今回の研修会では様々なテーマから公演が行われました。私自身も今回の研修の事を議会活動に生かしていきたいと考えます。

.....

.....